



森の守護神

森ボラ 通信

NPO 法人

第 268 号 2024 年 9 月 20 日発行
北海道森林ボランティア協会

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸 1 条 1 丁目 8-8 ラルズ生活研究センター

TEL (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

■ 活動報告

◆ 第 4 回親子森林教室 活動報告

野幌森林公園（道有林）で植樹祭開催！

9 月 8 日記録的な猛暑も北海道では峠を越し、秋の気配を感じる快晴の空のもと植樹祭が開催されました。昨年は熊の出没情報で止む無く中止となり今回は 2 年振りの開催です。参加者は 9 家族、森しり隊員 14 名、保護者 12 名、協会員 10 名、来賓として植林地の管理者である空知森林室の土井次長、石狩総合振興局の渡邊主査が参加され総勢 38 名となりました。樞棒代表幹事の開会式の挨拶の後、土井次長挨拶の中でこの植林地の 2008 年の台風の被災から現在までの来歴について説明いただきました。



参加者全員で集合写真

今回の植樹数は各家族が夫々広葉樹 3 本針葉樹 3 本、全体で合計 54 本を植える計画です。ラジオ体操の後、いよいよ植樹です。大窪さんが実際に植樹しながら説明しました。広葉樹は食害防止のためハイトシェルター式を採用しました。予め決められた植樹地点に穴を掘り、苗木を植える。ハイトシェルターを組み立て、苗木に被せて筒を支持するポールを 2 本両脇に差込み、結束バンドで固定。地面には防草シート（1.5mx1.5m）を敷きピンで固定。最後に隙間を埋める砂利石を撒いて完成です。針葉樹は食害対策が不要です。植樹箇所は広く散らばっており、各種の道具、資材を持って移動しなければならず、日影の無いところでの作業なので、体調を崩した隊員もあり、予定本数を若干数未達で午前中の作業を終了しました。



皆で協力してハイトシェルター設置



「緑のダム」実験

集合場所に戻り、昼飯休憩の前に「緑のダム」の実験をしました。発泡スチロールの箱、二つ。一つは①土を入れただけのもの、もう一つは②それに木と草が生えているもの。これを斜めに傾斜させ、上の方からジョウロで水をかけたらどうなるか？隊員は箱の前に来て見学、希望者に水をかけてもらいました。結果は①の水は表面を土と共に泥水となって流れて下り、②は中々水が下までは流れてこず、遅れて流れてきた水も濁っていません。箱の底に設置したパイプからの水も同様で①は濁り水、②は澄んだ水

でした。これは森林の大きな機能、雨水の保水と浄化が良く理解できる実験で隊員に強い印象を与えたようで、終礼の時に多くの隊員が「面白かったもの」として挙げていました。昼食後、2022年の植栽地に移動し、苗木の樹高を計測しました。この地の計測対象植栽の食害対策はネット方式で、樹種の異なる 5 本の木がネット内に植えられています。ネット毎に成長・変化は様々で、私の担当のネットは 5 本の内生存していたのは何と 2 本のみ、3 本は枯れていました。他のネットを見てみると 5 本全部が元気よく大きく成長してい



ネット内で樹高測定

るのもありました。この計測で作業は完了、その地で終礼解散となりましたが、往路で蜂に刺される事故（幸い大事には至りませんでした。）があり、復路は遠回りの車道を通って帰りました。暑い中、熱中症、蜂刺されも乗り越え、植樹祭も無事完了しました。お疲れ様でした。（文・高橋）

◆2024年度炭焼き顛末記

今年は異常気象とわたし個人の計画性の無さから、炭焼きの準備をしないまま残り一週間を切った8月19日大慌てで炭焼きの準備を行いました。炭用材料の準備、炭化炉の設置、炭化炉への材料の詰め込み等々、当然いつもの活動終了時間に間に合うはずありません。



炭化炉への材料詰め込み

当初の構想ではマニュアルに習って最下段に細い材を入れ、徐々に太い材を入れる予定でしたが私がモタモタしている間に**仕事の早い**諸先輩たちがあっという間に二段目まで詰め込んでしまっており、三段目を若干太い材にするのがやっとでした。そんなこんなで、有志による残業（手当なし）でなんとか着火前までの準備が完了しました。（手伝っていただいた方々ありがとうございました！）



火入れ直後の様子

8月24日当日は二日ほど前までの雨予報を覆し、わたしの日ごろの良い行いのお陰で雨雲は何処かへ消え去り絶好の炭焼き日和となりました。

過去の反省から今年も朝5時過ぎから準備を始め丸尾さんに手伝ってもらいながら5時52分に着火。しかし薪の水分が多く、中々燃え上がってくれません。急遽乾いた薪材を投入しながら、ブロワーで下から強制送風を行ってやっと火が回ってきたところで7時11分に上蓋を被



上蓋を被せ持久戦へ

せ煙突設置。これからは持久戦です！

前回までの煙突をローテーションをやめ今回は煙突から出る煙の様子や吸気穴から中を覗いて変化を肌で感じようと努めました。14時半頃に一つの煙突の煙が早くも透明感が増えてきて煙突を外して覗くと既に赤々と火が回っているではありませんか！少し躊躇しましたが、ここは昨年の反省から早々と煙突1本を塞ぐことにしました。そして30分後にもう一本も塞ぎましたが残った2本は下側にまだ火が回っていないようでした。様子見です。

炭焼きとは別に11時頃からは隣りで火を起こして化粧炭の作成に取り掛かりました。今年は出来るだけ熾火を使ってじっくりと焼く作戦を敢行！何度か失敗し、再チャレンジを繰り返しながらいつもより多くの化粧炭を作成できました。石飛さんと合田さんが炎天下をものともせずチャレンジしてできた毬栗は素晴らしい出来栄えでした。



化粧炭の出来栄え

炭窯の方は2本の煙突からの白煙が継続しているので野営の準備とBBQを始めました。途中二郷親子と范さんが参加し日が暮れたころには盛り上がりも最高になってきました。



イタヤカエデの炭

深夜12時過ぎに唯一煙の見張りをしていた加藤さんが最後は一人で煙突を外し、土をかけて密閉が完了しました。

8月29日いよいよ窯出しです。恐る恐る蓋を開けると、なんと今までに無い出来栄えです。やはり最初に煙突を外し密閉した側は燃焼が激しく炭が少なくなっていました。使えそうな炭がたくさん出来ました。特にイタヤカエデの炭が硬さも出来栄えも売り物になるレベルでした。



炭焼きの成果です！

今回の良かった点は窯のカバーに入れた土の密度が高く保温性が上がった事（これは荒舩さんが何度も土入れの時に水を入れて棒で突いて密度を高めたおかげです）それと慣例に習わずに煙突の煙と吸入口を監視しながら早めに空気量を絞った事が良か

ったと思います。反省点としては1段目の燃焼不足炭が半分くらい出来てしまったので1段目はできる限り細い材だけを入れる事。イタヤカエデの出来が良かったので、イタヤカエデのみで材を構成すればかなり完成度の高い炭が出来上がると思います。

出来た炭と化粧炭は10月に開催される「道民森づくりの集い」で配布する予定です。今回の炭焼きに協力していただいた皆様、本当にありがとうございました。(文：松藤)

■ 寄稿

◆ 森林整備のボランティア活動に参加して

日本道路株式会社北海道支店 風間 崇

「8月24日の土曜日何か予定がありますか？」事務担当のYさんから声をかけられた。「空いていますが、何かありますか？」「森林ボランティア活動に参加しませんか」二つ返事で承諾してみたものの具体的に何をするのか全く分からないままに当日、南区澄川の現場へ。

ブリーフィング時では不要な伐採する木に目印を付けリストを作成するとの説明。わが社の精鋭の9人で2チームを作り山の中へ入りスタッフの指示により枯れた木や株立ちした木を探し目印を付けていく。最初は楽な仕事だと思っていたが、山の斜面を何度も上り下りするうちに徐々に中古の足腰に鈍痛が走る。ヘルメットで隠れた額から汗が滴り落ちる。重量級の立派なお体の主は息が上がっている。森を守り整備することがこれほど大変だったとは。スタッフの苦労を身に染みて感じる「はい、ここで休憩」というスタッフのお言葉がこれほど嬉しかったとは。

約2時間という短い時間であったが、自然環境を守る仕事の意味と大切なことを教えられた半日であった。更に、森を出た後、森で伐採した間伐材を炭にする作業を見せていただいたが、森を整備した後に出た間伐材を捨てることなく再利用しているとは驚きであった。当社日本道路株式会社も環境に配慮した活動を施策の柱に掲げていることから、見習うべき施策の一つであると感じた。

森林整備のボランティアに参加したというより、参加させていただいたと思える一日であった。微力な活動であったが、次回も機会を見つけて参加させていただこうと決めた。余談ですが、最後に森から出た後に食べさせていただいたスタッフの自宅で栽培したというトマトの味は自然の香りがする格別の味だった。



活動に参加した日本道路株の皆さん

■ 澄川の自然 61

駐車場から小屋前広場へ行くには長さ100m位の坂を下ります。左手は高さ5m位の土手になっていて、その高さからいろいろな樹木が茂り、シラカンバだと10m位のものもあります。

右手は中程に森ボラ10周年記念樹のキタコブシが植えられていて、時々笹刈りなどをして手を入れています。左手の土手からミズナラ、ヤマナラシ、オニグルミ、ヌルデなどが坂道に覆いかぶさって、その上に葛が重なりトンネルになっていました。

8月の活動日、それらの木々を整理し、その上に覆いかぶさった葛も切り落としました。スッキリです。見えなかった空が見えます。

ツノハシバミ・パート2

ツノハシバミの実を食べたいと思っていました。今年の実は実現できました。実が熟すと自然と落ちるんですね。クリなどと同じなのでしょうか、初めは生で食べてみました。ほんのり甘みも感じられます。さらにプライパンで焙ってみました。少し油も出て香ばしく美味でした。

(写真・文/西野(澄))



■今月の幹事会

出席者(9/4):大窪・荻田・檀棒・加藤・松藤・矢野・西野(澄)・平・早坂・老田・丸尾

1. 2024年10月、11月活動スケジュール(10月幹事会10/9(水)):了承
2. 2024年度8月会計報告:了承
3. 2023年度決算の修正:札幌市の指摘により軽トラの固定資産の表記変更を実施。了承
4. 2024年度多面対策交付金事業8月報告:了承
5. 来年度の親子森林教室:年間10回開催、午前中。森歩きには専門家の同行依頼。
6. 10月の研修旅行:11月に忘年会と兼て実施。馬搬見学と厚真町震災復興視察。継続検討。
7. 道民森づくりの集い:10月5日、出展計画を進める。
8. 現場報告
 - ・整理伐状況:了承
 - ・炭焼き報告:再開してから最上の出来。了承
9. その他
 - ・森ボラホームページ進捗報告:8月の訪問数1,558件。了承
 - ・日本道路(株)今後の活動:了承
 - ・野幌トロッポの森、烏柵舞秋季植樹予定:針葉樹野幌860本・烏柵舞700本。助成申請通り。了承
 - ・事務所PC払下げ:了承

■活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
8月19日(月)	澄川	16	炭焼き準備、F1,2整理伐、樹名板工作
8月21日(水)	野幌道有林	7	草刈り、地存え、植栽箇所竹支柱設置
8月24日(土)	澄川	18	炭焼き、F1,2整理伐、 日本道路CSR活動支援(F3選木、炭焼き見学)9名参加
8月25日(日)	澄川(三幸建設)	7	炭焼き
8月27日(火)	野幌国有林	-	雨のため活動中止
8月29日(木)	澄川	12	F1,2整理伐、F3整理伐選木、炭出し・撤収
9月1日(日)	澄川	10	じょうてつCSR・親子・野幌準備
9月3日(火)	野幌道有林	9	下草刈り、地存え、駐車場草刈り
9月4日(水)	ラルズ生活研究C2F会議室	11	幹事会
9月5日(木)	滝野自然学園	6	刈払い機操作安全講習(多面事務局主催)
9月6日(金)	澄川	12	(株)じょうてつCSR活動支援(地存え、チップ-)14名参加 澄川南小5年生自然観察支援
9月8日(日)	野幌道有林	10	第4回親子森林教室(植樹、2022年植栽苗樹高測定)
9月10日(火)	有明第二	6	倒木・枯損木処理、下草刈り、樹高測定、小屋撤収
9月12日(木)	野幌国有林	8	枯損木処理、作業道・広場整備
9月14日(土)	澄川	11	F1整理伐、F3選木、ホダ場整備(天地返し)